



## 第11回常任理事会

**日時** 令和5年8月8日(火) 18:00～20:40  
**場所** 北海道医師会館・9階理事会室  
**出席者** 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・寺本・白崎・村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問  
**(Web参加者)** 菅田常任理事  
 (事務局：三瓶事務局長ほか14名)

### 協議事項

#### 第1号 令和5年度会費減免に関する件

(目黒常任理事)

道医学会の減免申請者は、高齢免除882名・一般減免7名・研修医減免77名・出産育児減免2名・医学部卒後5年間減免192名の合計1,160名で免除額28,728,000円、日医学会の減免申請者は、高齢減免363名・一般減免5名・研修医減免76名・出産育児減免2名・医学部卒後5年間減免165名の合計611名で免除額12,082,000円となる。以上の減免を了承し、8月19日(土)の第4回理事会に諮り、来年3月の代議員会に諮ることと決定。

#### 第2号 北海道医師会各分会・委員会委員の委嘱に関する件(目黒常任理事)

各都市医師会および医育機関医師会等から各分会員・委員会委員の推薦が上がってきたが、調整中の委員会もあることから、推薦のあった時点で、総務部ならびに各担当部において確認し、8月19日(土)の第4回理事会に諮ることと決定。

#### 第3号 北海道医師会勤務医部会若手医師専門委員会運営要領の一部改正に関する件(水谷常任理事)

若手医師専門委員会から提出された「医師会の活性化に向けた提言」に基づき、①全道各地の若手医師の多様な意見を反映させる、②安定的に委員を確保することを目的に、従来の会長指名に加え、郡市・三大学医師会からの推薦ルートを導入するため運営要領の一部改正について了承し、8月19日(土)の第4回理事会に諮ることと決定。

#### 第4号 日本医師会生涯教育講座の認定に関する件(村上常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座8件を承認することと決定。

#### 第5号 第2回都市医師会長協議会[11月12日(日) 10:30・Web併用]の開催に関する件

(目黒常任理事)

開始時間を例年の10時から30分繰り下げ、10時30分からの開催とし、Web併用会議とすることと決定。

#### 第6号 北海道医師会創立76周年記念行事[11月12日(日) 14:00]の開催に関する件(目黒常任理事)

記念講演講師の来道スケジュールの関係で、開始時間を例年の13時30分から30分繰り下げ、14時より札幌グランドホテルにて開催することと決定。

#### 第7号 第4回理事会[8月19日(土)・Web併用]の議案に関する件(目黒常任理事)

第4回理事会の提出議案を決定。

### 報告事項

#### 1. 第11回北海道医療安全研究会講演会[7月15日(土)・札幌市]について(長谷部常任理事)

北海道大学病院医療情報企画部部長・遠藤晃准教授から「セキュリティ対策はしていますか?～病院が持つ二つのネットワークのセキュリティ～」、SOMPOリスクマネジメント株式会社医療・介護コンサルティング部主席コンサルタント・大賀祐典氏から「説明と記録の重要性～保険会社の視点から～」をテーマに講演があった。参加者は会場、Web参加合わせて102名であった。

#### 2. 北海道小児救急医療地域研修事業協議会[7月26日(水)・Web併用]について(白崎常任理事)

北海道小児科医会、北海道、当会の三者で今年度の研修会開催計画について協議を行い、札幌会場をWeb併用開催、その他の会場を対面開催とし、一部会場での公共施設の利用、さらにWeb配信用務委託人員数の削減により経費を抑え、全道8か所で開催することを決定した。なお、来年度も8か所開催を維持するため、受託料の増額について北海道と当会で調整していくこととした。

#### 3. 日本医師会JMAT研修オプション研修(COVID-19編)[7月30日(日)・東京都]について

(目黒常任理事)

本研修は、災害時にJMATとして新型コロナウイルス感染症をはじめとする自チームの感染予防策を講じること、かつ派遣先において適切な感染対策ができることを目的に、初めて開催された。都道府県医師会JMAT担当役員などの参加者は、JMAT-eを活用した事前学習をした上で、標準予防策、PPEの着脱、検体の採取、避難所のゾーニングやクラスター対策などの実習を中心とした研修を受講した。当会のJMAT研修会にも活かしたいと考えている。

#### 4. 第9回緊急事態対応における北海道医師会・病院団体等との連携協議会[8月2日(水)・Web

## 併用] について (青木常任理事)

北海道から、今夏の新型コロナウイルス感染症等の感染拡大に備えた医療提供体制の確認に向けた対応、および新型コロナウイルス感染症の入院患者数等を基幹定点医療機関からの届出により把握する運用を9月下旬より開始する予定との説明があり、意見交換を行った。

## 5. 令和5年度北海道医師会賞受賞者選定委員会[8月3日(木)] について (村上常任理事)

札幌市医師会、北海道大学医師会、札幌医科大学医師会より推薦のあった今年度の北海道医師会賞受賞候補者5名について審査を行った(選定委員長:旭川医科大学・西川学長)。慎重審議の結果、5名全員を受賞者に決定した。

## 6. 医育ブロック会議[8月3日(木)] について (目黒常任理事)

三医育機関学長・病院長等の出席のもと「医師会組織強化について」をテーマに鈴木副会長ならびに日医・笹本常任理事から話題提供後、意見交換を行った。三大学から、医師会への加入メリットが分かりにくく、大学内で医師会の活動や三層構造についての理解が不足しているという意見があった。なお、三大学とも、今後の組織強化に向けて協力したい旨の発言があった。

## 7. 外部各委員会報告

### (1) 道民の健康づくり推進協議会第1回受動喫煙防止対策専門部会[7月21日(金)] について (青木常任理事)

健康づくり道民調査および道民歯科保健実態調査の結果、ならびに北海道受動喫煙防止対策推進プランに係る数値目標等の達成状況等について北海道より報告後、同プランの見直しの基本的な考え方について協議し、次期プランの策定スケジュールを確認した。

### (2) 第1回北海道子どもの未来づくり審議会[7月24日(月)] について (寺本常任理事)

会長に北海道大学大学院准教授・川田学委員、副会長に札幌弁護士会弁護士・山田暁子委員を選任し、第四期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」について、パパ育休や幼稚園設置数などの進捗状況の報告があった。また、今後の審議会機能の見直しや、困難女性支援法、配偶者暴力防止法の策定に向け、新たな部会の設置について協議を行った。

### (3) 北海道口腔保健推進協議会[7月24日(月)] について (荒木常任理事)

座長に北海道医療大学歯学部教授・齊藤正人構成員を選出後、歯科衛生士勤務実態調査について、勤務年数や離職が多い要因などの報告があった。また、次期「北海道歯科保健医療推進計画(8020歯っぴいプラン)・北海道医療計画(骨子案)」の今後の方向性について協議した。

### (4) 第1回北海道学校保健審議会[7月24日(月)・Web併用] について (藤原副会長)

今年度の学校保健文部科学大臣表彰の被表彰候補者について協議後、学校における新型コロナウイルス感染症対策と健康教育の充実に向けた取組みについて報告があり、学校における熱中症対策とフッ化物洗口の推進について説明があった。

### (5) 第2回・第3回北海道感染症対策有識者会議[7月25日(火)・7月31日(月)] について (三戸常任理事)

第2回では、新型コロナウイルス感染症の流行期間における人口動態・経済等の状況について説明後、新型コロナウイルス感染症への対応について、「社会経済活動」をテーマに検証・意見交換を行った。第3回では、新型コロナウイルス感染症への対応について、「保健医療」をテーマに検証・意見交換を行った。次回は、「行政の対応」をテーマに検証した上で、今後の対応を検討する予定である。

### (6) 北海道公衆衛生協会第1回常任理事会[7月26日(水)・Web会議] について (藤原副会長)

役員および専門部会委員の変更について確認後、公衆衛生協会賞、調査研究事業について協議した。また、第75回北海道公衆衛生学会の開催概要、令和4年度収支決算見込みについて報告があった。

### (7) 第2回北海道新興・再興感染症等対策専門会議医療体制専門部会[7月27日(木)] について (三戸常任理事)

改正感染症法に基づく次期「北海道感染症予防計画」の策定に関して、見直しの考え方、数値目標の考え方、医療措置協定の運用のあり方等について検討を行った。

### (8) 第2回北海道高齢者保健福祉施策検討協議会[7月28日(金)・Web会議] について (藤原副会長)

地域医療介護総合確保基金(介護分)の概要について報告後、令和5年度北海道計画について協議した。また、第8期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」の進捗状況の報告および第9期「高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」について意見交換を行った。

### (9) 北海道医療対策協議会 第1回「地域医療を担う医師養成検討分科会」、「専門医制度等検討分科会」[7月31日(月)・Web併用] について (佐古副会長)

2分科会が合同で開催された。地域枠医師キャリア形成プログラムの見直しについて、令和7年度から総合診療科・内科・外科・小児科・産婦人科・救急科を特定診療科とし、地域勤務時期を柔軟に設定できるインセンティブを設け



ることを下部組織の検討委員会で議論したことの報告があった。キャリア形成卒前支援プランの策定、今年度の医師確保計画の推進状況および次期北海道医師確保計画の策定に向けた論点や今後のスケジュールなどについて説明があり協議を行った。

**(10) 第2回北海道感染症対策連携協議会〔8月4日(金)〕について(三戸常任理事)**

次期「北海道感染症予防計画」の概要について説明後、専門部会での協議内容を踏まえ、本計画の構成(骨子案)について協議した。

**(11) 第2回北海道社会福祉審議会地域福祉支援計画専門分科会〔8月7日(月)〕について**

(藤原副会長)

北海道における地域福祉を取り巻く状況や現状と課題の整理等について協議後、北海道地域福祉支援計画の基本的な考え方や課題等について意見交換を行った。

**8. 中央情勢報告**

- ・北海道における感染状況について
- ・今夏の新型コロナウイルス感染症等の感染拡大に備えた保健・医療提供体制の確認等について
- ・改正感染症法に基づく次期「北海道感染症予防計画」の策定および「医療措置協定」の締結について(話題提供:北海道保健福祉部感染症対策局、三戸・荒木両常任理事)

北海道保健福祉部感染症対策局から、新型コロナウイルス感染症等の北海道の感染状況や、国の通知を踏まえた今夏の新型コロナウイルス感染症等の感染拡大に備えた保健・医療提供体制について説明があった。また、改正感染症法に基づく次期「北海道感染症予防計画」の策定と「医療措置協定」の締結について、現時点の北海道の基本的な考え方など話題提供があり、意見交換を行った。

**道総医協関連事項(藤原副会長)**

**1. 第66回総会〔7月25日(火)〕について**

(藤原副会長)

会長に松家会長、副会長に高橋常任理事を選任後、委員の委嘱状況や3専門委員会(救急医療、地域医療、地域保健)の昨年度の協議実施状況等について報告があり、今年度の協議予定事項について確認した。なお、本総会終了後、各専門委員会が開催された。

**2. 第1回救急医療専門委員会〔7月25日(火)〕について(鈴木副会長)**

委員長に小職、副委員長に札幌医科大学教授・成松英智委員を選任後、各小委員会の委員を指名し承認された。北海道医療計画の推進状況や次期医療計画策定に向けた論点、メディカルウイングおよびドクターヘリの運航実績、小児救急医療体制、令和4年度北海道ブロックDMAT実動訓練の実施結果等について報告があった。

**3. 第4回地域医療専門委員会〔7月25日(火)〕**

**について(佐古副会長)**

委員長に小職、副委員長に札幌医科大学教授・辻喜久委員を選任後、4小委員会等(看護対策、周産期・小児医療、医療施設整備等、在宅医療)の委員構成ならびに今年度の協議事項について説明があり、了承された。また、次期「北海道外来医療計画(骨子案)」の考え方として北海道医療計画と一体的に作成するため、重複項目の削除、紹介受診重点医療機関に関する記述の追加などについて説明があり了承された後、紹介受診重点医療機関となる意向を示した医療機関数などについて委員に情報提供があった。

**4. 第1回地域保健専門委員会〔7月25日(火)〕について(藤原副会長)**

委員長に小職が、副委員長に北海道大学医学部教授・上田佳代委員を選任後、各小委員会の委員を指名し承認された。がん診療体制整備の検討スケジュールや内容、および地域保健専門委員会各小委員会の今年度の協議予定事項について確認した。

**5. 地域医療専門委員会第1回在宅医療小委員会〔7月27日(木)〕について(藤原副会長)**

委員長に小職、副委員長に北海道家庭医療学センター理事長・草場鉄周委員を選任後、北海道在宅医療推進支援センター事業および北海道医療計画の在宅医療の提供体制における数値目標の達成状況について報告があった。次期医療計画の策定にあたっては、各種基本方針、作成指針等に基づき、市町村介護保険事業計画および北海道介護保険事業支援計画との整合性を図るよう厚生労働省より指示があった。そのため、在宅医療の医療連携圏を39とするほか、新たに「在宅医療の提供体制」の項目を設けることとし、「在宅医療において積極的な役割を担う医療機関」および「在宅医療において必要な連携を担う拠点」を指定し、その役割を整理した上で掲載する方針とした。

**6. 地域医療専門委員会第1回看護対策小委員会〔8月1日(火)〕について(水谷常任理事)**

今年度の本委員会の進め方、次期医療計画の策定について報告があった。看護職員の確保を巡る状況や就業状況、北海道の訪問看護人材の確保・育成に関する現状と課題について説明があり、医師以外の医療従事者の確保のため、現行医療計画の事業評価等について意見交換を行った。

## 第4回理事会

日時	令和5年8月19日(土) 16:00~17:54
場所	北海道医師会館・9階理事会室
出席者	藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・水谷・伊藤・青木・荒木・菅田・寺本・村上各常任理事、對馬・鈴木・小西(勝)・吉田・稲葉各理事、藤瀬・梶両監事、長瀬顧問、

笹本参与、生駒・志田両委員、  
(Web参加者) 松家会長、今・小西(宏)・  
滝山・柴田各理事、阿久津監事、深澤参  
与、井門議長、大原副議長、久保田・佐賀  
両委員

(事務局：三瓶事務局長ほか14名)

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 報告事項

- (1) 第154回日本医師会定例代議員会〔6月25日(日)・日医会館〕について(鈴木副会長ほか)

松本会長および日本医学会・門田会長の挨拶後、令和4年度事業報告があった。議事に入り、令和4年度決算の件、令和6年度日本医師会会費賦課徴収の件について上程され、承認された。続いて、日本医師会常任理事選任・選定の件について上程され、松本会長より理事者提案理由の説明後、定数どおりとなった4名の候補者(当会から笹本洋一参与が立候補)の常任理事選任・選定につき、承認された。その後、代表質問が行われ、北海道から1題提出し、当会副会長・佐古代議員から「薬剤師の偏在について」質問を行い、宮川常任理事から、薬剤師の地域偏在や業態偏在は日医としても重大な問題だと認識している。日医は、2019年の厚生労働省の社会保障審議会医療部会で、本件については国として検討するように要望した。また、厚生労働省の薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会で、薬剤師の従事先には地域偏在や業態偏在があり、特に病院薬剤師の確保のみならず、病院での卒後臨床研修の在り方が喫緊の問題であることを指摘し、対策を講じるよう要望している等の回答があった。

- (2) 日医理事会報告(松家会長)

6月の理事会では、内閣官房 第22回健康・医療戦略参与会合の件、中医協の件、医療用医薬品の流通改善に関する懇談会(第34回)の件等の報告、日本医師会執行部職務分担の件等について協議した。7月の理事会では、中医協の件、文部科学省 今後の医学教育の在り方に関する検討会(第3回)の件、第6回医薬品の販売制度に関する検討会の件等の報告、会内委員会委員交代の件等について協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

- (3) 日医各委員会報告

- 1) 医師会共同利用施設検討委員会〔5月12日(金)・7月21日(金)・Web併用〕について(久保田委員)

5月の委員会では、日医常任理事会において承認された第30回全国医師会共同利用施設総会の開催要領およびプログラムについて報

告があった。その後、会長諮問に関するレポートに基づき、東京都医師会理事・佐々木聡委員から、対策型検診における医師会共同利用施設としての取り組み等について、他の委員からも、介護保険関連施設やかかりつけ医機能支援関連を中心に説明があり、意見交換を行った。7月の委員会では、厚生労働省医政局医療経営支援課・山本修一医療法人支援室長より、地域医療連携推進法人制度に関する政府の方針および制度を活用する効果・メリット等について説明があった。次に、地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネット・栗谷義樹代表より法人設立までの経過や今後の課題等についての講演があった。その後、会長諮問への答申項目について整理し、執筆分担等を協議した。

- 2) 社会保険診療報酬検討委員会〔5月17日(水)・7月19日(水)〕について(伊藤常任理事)

令和4年度診療報酬改定の評価ならびに令和6年度の改定に対する要望事項について審議した。令和4年度改定では医科本体がプラスを確保できたことは一定の評価するものの、薬価・材料価格の引き下げ分については今回も十分には診療報酬本体には反映されなかった。次期改定では、今後も予想されるエネルギー価格や物価の高騰に対応するため、初・再診料や入院基本料の引き上げなど、診療報酬の根本からの引き上げを重点項目に挙げ、加えて、医療DXの推進のためのシステム導入への対応やサイバーセキュリティ対策等に関わる評価なども審議した。

- 3) 母子保健検討委員会〔6月1日(木)〕について(寺本常任理事)

小石川医師会・内海裕美会長より、「母子保健におけるメンタルヘルス～小児科開業医の立場から～」をテーマに講演後、会長諮問に関するフリートークを行った。今回は、産婦人科の立場から母子保健におけるメンタルヘルスの講演を予定している。

- 4) 学校保健委員会〔6月7日(水)〕について(荒木常任理事)

会長諮問に対する議論を深め、各委員から情報提供後、諮問に関する小委員会での検討内容をもとに、答申作成に向けた執筆の分担や今後の進め方を確認した。

- 5) 医療関係者検討委員会〔6月9日(金)〕について(水谷常任理事)

令和5年度医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査の速報値が報告され、学校数、准看護師課程、看護師2年課程が大幅に減少している等の説明があった。その後、会長諮問に関する論点とこれまでの議論等、



答申作成に向けた今後の検討スケジュールについて協議した。

6) 地域包括ケア推進委員会〔6月15日(木)・7月27日(木)・Web併用〕について

(菅田常任理事)

6月の委員会では、中央情勢報告、令和6年度の同時報酬改定に向けた意見交換会について報告があり、地域における取り組みについて、県単位や都市医師会での事業の仕分け等について意見交換を行った。7月の委員会では、埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授・田中滋先生より、共生社会構築に役立つ地域包括ケアシステムの機能等について講演があった。

7) 産業保健委員会〔6月15日(木)、8月10日(木)〕について(生駒委員、村上常任理事)

6月の委員会では、認定産業医制度について、対面・集合型研修の充実・強化等、産業医研修会の積極的開催を促す方針であることや、小規模事業場の産業保健のあり方について議論するために「産業保健委員会小委員会(産業保健のあり方に関する小委員会)」を設置する旨の報告があった。また、無作為に抽出された、産業医活動をしている日医認定産業医1万人に対し、化学物質管理に関するアンケート調査を行うと説明があった。8月の委員会では、会長諮問に関連して、厚生労働省による中央情勢報告後、産業医学研修会(生涯研修)主催の要件について検討した。また、最近の生涯研修の実施件数、受講者人数のほか、厚生労働省による化学物質の自律的な管理における健康診断に関する検討報告書について報告があった。

8) 外国人医療対策委員会〔6月22日(木)・Web併用〕について(伊藤常任理事)

医療通訳の種別ごとの問題点と課題について協議後、会長諮問に関するフリートークを行った。また、日医ホームページに掲載する外国人患者向け医療ポータルサイトについて確認した。

9) 地域医療対策委員会〔6月26日(月)・Web併用〕について(笹本参与)

「人口減少下における医師確保・医師偏在対策」をテーマに、各委員から各県の現状や取り組みについて説明し、意見交換を行った。小職からは北海道の取り組みとして緊急臨時的医師派遣事業やドクターバンク事業のほか、自治医科大学卒業医師や地域枠医師の配置の現状等について説明した。また、福島県医師会からは医業承継支援事業として平成31年に同県医師会が医業承継バンクを設置・運営し、令和5年3月31日時点において12件の

医業承継が成立していること等の説明があった。

10) 有床診療所委員会〔7月5日(水)・8月4日(金)・Web併用〕について(鈴木副会長)

7月の委員会では、新たに副担当となった日医・笹本常任理事より挨拶後、中間答申案に関して、次期診療報酬改定に対する5点の要望項目ならびに有床診療所の活性化を目指す議員連盟の基本診療料の大幅な引き上げの要望に対する厚生労働省の回答について説明があり、会長諮問に対するフリートークを行った。8月の委員会では、「有床診療所の日」記念講演会の議事次第について説明後、中間答申最終案および会長諮問について協議を行った。

11) 健康食品安全対策委員会〔7月7日(金)〕について(滝山理事)

健康食品安全情報システム事業に情報提供された健康被害例について審議後、会長諮問に関するフリートークを行い、今後のスケジュールが示された。

12) 予防接種・感染症危機管理対策委員会〔7月21日(金)〕について(三戸常任理事)

厚生労働省より、新型コロナウイルス感染症の直近の感染状況および予防接種の動向について説明後、全国の带状疱疹ワクチンの公費助成、新型コロナウイルス感染症への対応等について報告があり、意見交換を行った。

13) 未来医師会ビジョン委員会〔7月22日(土)・23日(日)・Web併用〕について

(志田委員、佐賀委員)

2日間にわたり東京都内において、合宿形式で開催した。1日目は、自見はなこ参議院議員より、「医政活動と医療政策の決定の現場」をテーマに講演があり、質疑応答を行った。2日目は、会長諮問に対する中間報告の取りまとめについて議論した。

#### 4. 中央情勢報告

##### 「医師会の組織強に向けて」(笹本参与)

笹本参与より日本医師会常任理事の立場から、減少傾向にある日本医師会組織率の現状や組織力強化の意義などの説明、組織強化に向けた協力依頼があった。

#### 5. 承認事項

##### (1) 役員会務分担について(三戸常任理事)

14部の部長、副部長および各部の担当役員ならびに理事会に設置されている小委員会委員の就任について承認決定。

##### (2) 日医会内委員会委員の変更について

(三戸常任理事)

役員会務分担の変更に伴い、交代することと承認決定。

(3) 母体保護法指定医師審査委員会委員・不服審査委員会委員の委嘱について（三戸常任理事）

母体保護法指定医師審査委員11名、同不服審査委員7名を委嘱することと承認決定。

(4) 外部各委員会等委員の変更について（三戸常任理事）

役員会務分担の変更に伴い、外部委員会委員も一部変更することを承認決定。なお、診療科が関連するものについては、専門の先生に変更することと承認決定。

(5) 社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦について（伊藤常任理事）

2名の標記審査委員会委員について、社会保険診療報酬支払基金北海道支部に推薦することと承認決定。

(6) 事務局の人事異動について（三戸常任理事）

7月1日付けの事務局長交代の人事異動について承認決定。

## 6. 協議事項

### 第1号 令和5年度会費減免に関する件

（三戸常任理事）

道医学会の減免申請者は、高齢免除882名・一般減免7名・研修医減免77名・出産育児減免2名・医学部卒後5年間減免192名の合計1,160名で免除額28,728,000円。日医学会の減免申請者は、高齢減免363名・一般減免5名・研修医減免76名・出産育児減免2名・医学部卒後5年間減免165名の合計611名で免除額12,082,000円となる。以上の減免を了承することと決定。

### 第2号 北海道医師会各支部・委員会委員の委嘱に関する件（三戸常任理事）

各郡市医師会および医育機関医師会等から推薦を受けた各支部・委員会委員を名簿一覧（一部未定を含む）のとおり委嘱することと決定。

### 第3号 表彰選考委員会委員・育英資金運営委員会委員に関する件（三戸常任理事）

表彰選考委員会委員8名および育英資金運営委員会委員12名を委嘱することと決定。

### 第4号 北海道医師会勤務医部会若手医師専門委員会運営要領の一部改正に関する件（水谷常任理事）

若手医師専門委員会から提出された「医師会の活性化に向けた提言」に基づき、①全道各地の若手医師の多様な意見を反映させる、②安定的に委員を確保することを目的に、従来の会長指名に加え、郡市・三大学医師会からの推薦ルートを導入するため運営要領の一部改正をすることと決定。

### 第5号 令和5年度北海道医師会賞受賞者に関する件（村上常任理事）

北海道医師会賞受賞候補者5名を受賞者として決定。

### 第6号 第2回郡市医師会長協議会[11月12日(日)・Web併用]の開催に関する件（三戸常任理事）

開始時間を例年の10時から30分繰り下げ、10時30分からの開催とするとともに、Web併用会議とすることと決定。

### 第7号 北海道医師会創立76周年記念行事[11月12日(日)]の開催に関する件（三戸常任理事）

記念講演講師の来道スケジュールの関係で、開始時間を例年の13時30分から30分繰り下げ、14時より札幌グランドホテルにて開催することと決定。

### 第8号 理事提案事項

特になし。

### 第9号 その他

特になし。

### 7. 道総医協関連事項（藤原副会長）

令和5年度第2回理事会（令和5年5月20日）報告以降に開催された会議について報告した。

### 8. 閉会

## 第12回常任理事会

日時 令和5年8月29日(火) 17:58～18:35

場所 札幌プリンスホテル・国際館パミール

出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・日黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本・白崎・村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問

（事務局：三瓶事務局長ほか13名）

### 協議事項

#### 第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

（三戸常任理事）

持ち回り審査で指定可とされた新規申請者2名を指定医師とすることと決定。

#### 第2号 社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦に関する件（伊藤常任理事）

1名の標記審査委員会委員について、社会保険診療報酬支払基金北海道支部に推薦することと決定。

#### 第3号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（村上常任理事）

認定要件を満たした新規申請者6名と更新申請者35名を承認し、日医へ申請することと決定。

#### 第4号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（三戸常任理事）

認定要件を満たした新規申請者1名と更新申請者2名を承認し、日医へ申請することと決定。

#### 第5号 日本医師会生涯教育講座の認定に関する件（高橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座5件を承認することと決定。

### 第6号 その他

(1) 9月行事予定表に関する件（事務局）

### 報告事項

## 1. 第1回全国メディカルコントロール協議会連絡会〔7月27日(木)〕について(青木常任理事)

第1部では東京都メディカルコントロール協議会・横田裕行会長ほか3名から「医療機関に勤務する救急救命士に対する取組」、「PEMEC(症候別救急疾患病院前救護)」等について講演が行われた。第2部では海上保安庁、消防庁および厚生労働省から情報提供があり、参加者は約250名であった。今回は来年2月2日(金)に愛知県名古屋市で開催予定。

## 2. 第26回日本臨床救急医学会総会・学術集会〔7月27日(木)～29日(土)〕について

(青木・白崎両常任理事)

帝京大学医学部救急医学講座・森村尚登主任教授が学会長となり、「救急医療の可視化と暗黙知」をテーマに開催された。救護者保護とトリアージに関わる哲学的思考やマスギャザリングイベントにおける医療対応に係るディスカッション、米国救急医療・プレホスピタル医療の現状に係る講演などが行われ、参加者は約2,600名であった。今回は来年7月18日(木)～7月20日(土)、社会医療法人緑泉会米盛病院救急科・富岡譲二先生が学会長となり、鹿児島県鹿児島市で開催予定。

## 3. 介護保険制度・障害者総合支援法にかかわる主治医研修会・札幌市〔8月20日(日)・Web併用〕

(菅田常任理事)

北海道からの受託事業として実施している本研修会について、第1回をハイブリッド方式にて開催した。小職より、介護保険制度における主治医意見書の記載例を解説し、北海道保健福祉部より、同制度の概要と障害者総合支援法について説明を行った。参加者は現地74名、Web277名、計351名であった。また、北海道ヘルスケア・ロボット協会の協力のもと、ミニロボット展を初開催し、介護用ロボット機器等の展示を行った。

## 4. 日医「改正感染症法等に基づく協定に関する説明会」(都道府県医師会担当理事連絡協議会)〔8月24日(木)・Web会議〕について(松家会長)

令和4年感染症法等改正法により、新興感染症の発生・まん延時には、公的医療機関等には感染症医療の提供義務が設けられ、また都道府県と各関係医療機関との医療措置協定に基づく医療提供体制の構築等が行われることから、法改正の内容等を共有することを目的に開催された。厚生労働省より、医療措置協定ガイドライン、協定締結医療機関等への財政支援、医療計画(5疾病6事業)による新興感染症医療提供体制等について説明後、本協定に対する日医の考え方が示され、質疑応答を行った。出席者は約170名であった。

## 5. 外部各委員会報告

### (1) 第2回北海道がん対策推進委員会〔8月23日(水)・Web会議〕について(松家会長)

会長に小職、副会長に北海道がんセンター院長・加藤秀則委員を選出後、各専門部会の委員を指名した。次期北海道がん対策推進計画の骨子(案)ならびに次期北海道がん対策推進計画における全体目標等について意見交換を行い、今後の委員会の進め方を確認した。

## 6. その他

### (1) 会員数について(三戸常任理事)

令和5年7月31日現在の当会会員数は8,125名で、内訳はA会員2,337名、B1会員617名、B2会員4,639名、C1会員87名、C2会員115名、C3会員330名となった。なお、日医会員数は5,717名となっている。

## 道総医協関連事項(藤原副会長)

### 1. 地域医療専門委員会第2回周産期・小児医療検討委員会〔8月22日(火)・Web会議〕について

(寺本常任理事)

委員長に札幌医科大学医学部産婦人科学講座教授・齋藤豪委員、副委員長に北海道小児科医会理事・水島正人委員を選出後、北海道医療計画等の推進状況および評価等、次期北海道医療計画の骨子(案)ならびに周産期・小児医療圏の検討課題等について説明があり、活発な意見交換が行われた。



**みんなで乗れば、  
未来が変わる。**

考えよう。行動しよう。公共交通の未来。

北海道医師会は、北海道鉄道活性化協議会(会長：北海道知事)の構成団体として、JR北海道をはじめとする公共交通機関の利用促進に協力しています。

会員の皆さまにも是非ご支援を賜りますようお願いいたします。

公式 Web サイト <https://www.hokkaido-rail-k.jp/>